

令和3年度第3回検討部会(R4.1.31)における主なご意見等 (いただいたメールの内容を含む)

資料4

項目	通し番号	ご意見の概要	対応	
学卒者訓練	電子情報科 1	<ul style="list-style-type: none"> 例えばこの中にコースを分けて、学卒者でも製造業以外で、IT産業など向けのコースを作ったらいかがでしょうか。現状の電子情報コースは、製造業向けの情報、訓練ですよね。なので、例えば中にコースで、資料4みたいなコース(プログラミング)の学卒者向けのもっと充実したものを設置できたらいいのかなと思いました。 	<ul style="list-style-type: none"> 前身は情報システム科。 もともとプログラミング修得(C、C#、Pythonなど)はカリキュラムに入っている。 	
	IT関連 2	<p><部会後のメール></p> <ul style="list-style-type: none"> 学卒者向けですが、IT関連のコースも製造業(IoTとかで)で働くことが前提となっているコース編成のように見受けられますが。やはり、製造業も重要ですが、製造業以外(IT産業とか)でも働けるように、プログラミング中心のコース(独立したコースでなくても、コース内のコースでもよいので)があった方がよいと思いました。(きっと講師などは外注することになるのでしょうか) 今回の目標のひとつが、製造業以外にも、富山県内で魅力的な仕事の選択肢を与えられるようにするというのがあったと思いますので(ま、私がいつていただけかもしれませんが) もちろん、岩本先生がおっしゃっていたように、ちょっとくらいじつ々しいでは、ITベンダーで働けないということもあるかもしれないのですが、でも、調査結果では起業は別に大学で専攻した人ばかりをもとめていたわけではないです。プログラミングなどもっとかかりを学ばせて、そのあとでさらに追加のアドバンスなコースを選べるようにできたらと思いました。あとは、大学への編入を支援するとか。 就職についても、県内だけでなく、県外のリモートで働けるような仕事を紹介するような努力をしていったらよいのではないかと考えています(企業誘致も頑張ってくださいですが)。 IT関連でも、ITベンダーで開発までやるとなると大変なのかもしれませんが、そこまでいなくてもIT関連で仕事のニーズはあると思います。経済学部の学生でもITパスポートだけとか、ITパスポートと基本情報技術者の資格だけでIT関連企業に勤めたりしていますので、、、。(勉強はじめて1年くらいで)とっかかりになれば、そこから勉強することもできますし。 その場合は、できるだけ人気があるIT関連資格がとれるような構成にするとよいと思います。 	<ul style="list-style-type: none"> 民間教育訓練機関とのバランスもあり、デジタル電子回路作成などのハードウェア技術の習得をカリキュラムに組み込み、電子情報科とした経緯があるため、情報(プログラミング)に寄りすぎるのは民間競合となりかねない。 システム設計、ソフトウェア開発等への就職者(12名)は全就職者数(35名)のうち約35%(過去3年実績) 基本情報技術者試験対策とITパスポート試験対策のカリキュラムが合計836時間(90分)。2年間の総訓練時間(1,578時間(90分))の約53%に相当する。 夜間訓練等で1年間に1400時間の総訓練時間を確保できない場合は、訓練期間を延長することにより、総訓練時間数を満たす必要がある。【職業訓練運用要領(厚生労働省)】(1年間に1400時間を確保したうえで、2年の訓練期間を1年延長することは制度上不可能。) 	
金属系	見直し内容 守備範囲の違い 3	<ul style="list-style-type: none"> 機械の例えば設計とか、組立も含む部分に、そういった面に関しての補強は特にここにはないということでもよろしいですか。 確かに学卒者向けの見直し案が離職者向けの方にもあったらいいなと思いました。今後というお話がありましたので、了解しました。 	<ul style="list-style-type: none"> CADクラフト科を製造・ものづくり系分野への就職を目指す訓練科とする。 溶接シュミレーターの導入。(ポリテクセンターに導入済み。バーチャルリアリティ(仮想現実)により訓練効果が見込める。) 	<p>→ 資料6-4</p> <p>→ 資料6-3</p>
	4	<ul style="list-style-type: none"> CADと板金ってちょっとジャンルが違んですけど、溶接と板金でセットは分かるんですけど、溶接にCADの方向性を加えつつ板金というのが果たしてどうなのかなという感じがしました。金属加工科と金属ものづくり基礎科ですよね。CADと板金の組合せはちょっと個人的にはどうなのかなと思ったところでございます。 	<ul style="list-style-type: none"> もともと行っている「機械板金」に「CAD」を組み合わせた訓練の時間を増やすカリキュラムの見直しを検討するもの。 	<p>→ 資料6-3</p>

令和3年度第3回検討部会(R4.1.31)における主なご意見等 (いただいたメールの内容を含む)

資料4

項目	通し番号	ご意見の概要	対応	
建築系	土木系CAD	5	<p>・建築CADは建築CADでリフォームのときとかはすごく大切かなと思うんですけど、今、土木系のCADもすごくニーズがありまして、これから本当に県内の社会インフラもどんどん老朽化していく中で、<u>土木系のCADをする人材</u>というのは、どこの建設コンサルタントさんとかゼネコンさんとかも求められています。<u>そういうところも入れていただければいいかなと思いました。</u></p>	
	3科のすみ分け	6	<p>・建築CADはここだけ元の科の成り立ちを少し引きずっているのか、建築CADはどちらかという建築の色が強いんだけど、CADクラフト科はある意味ゼネラルなどうか、そういうだけじゃなくNCとかもみたいなニュアンスで、先ほど土木も入れた方がいいんじゃないかという意見もあったので、<u>この3科で何をやるかは、何かもう少し整理の余地があるのかもしれないな。</u></p> <p>・逆にCADクラフト科は、具体的なカリキュラムは分からないのですが、建築CADもやるしNC加工機の操作もやるしというので、<u>どっちつかずにならないのかな</u></p>	<p>【建築CAD科】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・建築デザイン科に名称を変え、総合建築科の要素も取り入れた上で、6ヶ月訓練とする。 <p>→ 資料6-4</p>
		7	<p>・<u>総合建築科と、建築CAD科と、CADクラフト科</u>というので3つあるんですけども、ここのすみ分け、資料の3-4で見れば分かるんですけど、<u>ここまで細かくすみ分けしなければいけないのかな</u>と思いました。</p> <p>・総合建築科というのは木造建築一般とCAD。ここでもCADをやるんですよ。建築CAD科があって、そのCADにアルミ、鉄、プラスチックなどの加工ができるというところを加えてCADクラフトという名前がついています。こら辺をもう少し整理されればどうかという。<u>細かくすればするほど、資料によれば入校率が低くなっているという状況の中で、ばらけてしまうという。なおさら入校率が低くなったりという結果にならないのかなと感じました。</u></p>	<p>【CADクラフト科】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・製造・ものづくり系分野への就職を目指す訓練科とする。 ・各種CADの基礎があれば、土木系の職場に就職した場合、土木関係のCAD技能も数カ月で習得が可能。 ・いろいろ習得できて就職の幅が広がることを押し出していく。 <p>→ 資料6-4</p>
	守備範囲の違い	8	<p>・こちらも建築CAD科でいますと、建築CADにNC加工、これは金属系のNC CADのことなんですかね。木材系を使うのと、その辺、知識がないので分からないんですけども、<u>建築CADとNC加工も少しジャンル違うのかなと。</u></p> <p>・CADクラフト科も、先ほどから意見があったんですが、<u>建築CADとNC加工、木材だけでなくアルミ、鉄、プラスチックの加工も</u>というのと、<u>少し守備範囲が違うのかなと。</u>担当する指導員のジャンルも変わってくるのかなというのと、受講生がこの名前が入ってきたときに、鉄、アルミ、プラスチックという部分の希望があるのかなという感じがしましたので、そこは御検討いただければよろしいかなと思いました。</p>	
事務系（ビジネス事務科）	資格	9	<p>・今、会社で人を採用するときに見ているのが、ITパスポートを持っているかどうかで結構重視しているんです。ITパスポートってすごく大学生とかでも受けるような資格なんですけど、<u>満遍なく理解されているかどうかというのが分かるので、そういうのも検討されたいかな</u>と思いました。</p>	<p>・ITパスポート習得にかかる時間はおよそ100時間であり、4ヶ月（510時間）内で実施するのは困難であるため、訓練期間を4ヶ月から6ヶ月に拡充することで、IT関連の資格取得を目指す。</p> <p>→ 資料6-7</p>
	カリキュラム	10	<p>・情報系の拡充のところが16時間程度、2日分というのは、これが十分かどうか。</p> <p>・デジタル系のことを事務系の仕事の中で生かしていく基本的な知識として、社会的な意味で身につけていくというところで、少し足りないかもしれないというのを少々思いましたので、これもカリキュラム全体のバランスの中で見ていただければいいなと思います。</p>	<p>・訓練期間延長による施設内訓練の定員減少分は、委託訓練の入校枠に余裕があるため、対応が可能。</p> <p>【課題】現職員で対応が可能か確認。外部講師が必要か。</p>
	科名	11	<p>・ビジネス事務科の部分はこういうふうに統一していただいて非常に良かったなと思っています。似たようなことを別々の名前で色んなところでやっているというのは分かりづらかったので、先ほどから出ている広報の面でも、こういうふうにした方がすっきりしてやりやすいんじゃないかなと思っていますので、非常にいいと思います。</p>	—
	ハイブリッド型の授業	12	<p>・OA事務系の入学希望者は結構高いのですが、ニーズ調査でハイブリッド型の授業への希望が結構高かったと伺ったので、57%でしたっけ。なので、全部をハイブリッドにするのは難しいと思うんですけど、<u>できる範囲でハイブリッドも組み合わせる努力を</u>すると、例えば子育て中の人とか介護中の人も参加しやすくなるのではないかなと思った次第です。</p> <p><部会後のメール></p> <p>・調査の結果、オンラインの需要は高いことがわかりました。全部は無理でも1部でもオンライン（ハイブリッド）で授業を提供できるようにしたら、より幅広い人が受講しやすくなると思います。富山がデジタルトランスフォーメーションを目指すなら、まずそのあたりから積極的に変えてみたらいいと思います。</p>	<p>・通信の方法のうち、テレビ会議システム等を使用し、講師と訓練生が映像・音声により互いにやりとりを行う等の同時かつ双方向に行われるものだけが認められており、録画した内容の事後配信の形式で授業を行うことはできない。ただし、復習用などのために既に行った授業の録画配信は可能。【委託訓練実施要領（厚生労働省）】</p> <p>・大雪で道路や公共交通機関が麻痺した時や、コロナウイルス感染症が感染拡大したときには、オンライン訓練は有効である。</p> <p>【課題】学卒者訓練ではすでに取り入れているが、離職者訓練でも実施できると良い（OA事務科で試行的に実施）。ただし、オンライン訓練を実施する環境の整備や貸出用PCの準備など、課題もある。</p>

項目		通し番号	ご意見の概要	対応
委託訓練 IT実践科	就職・カリキュラム	13	<p>・6か月少しこういう訓練をしたからといって、ベンダーで採用とかというふうにも結びついていくものなのか。コースを増やしちゃって行く先がないみたいなことがないか。</p> <p>・ベンダーさんの採用担当とお話している中で、何でも欲しいというところもある一方で、これだけをやって本当に通るレベルに6か月という中でのかなと思うと、また出口が違うデジタル人材みたいなものも足りないところは沢山ある中で、この中にも裏に社内IT技術者とか、色々そういう行き方がある気がするのですが、これも本当カリキュラムの内容次第なんですけど、プログラミングにすごく寄っている割に、何か少し足りない感じがしてしまうので、これは民間に委託されるので、委託の内容を含めて工夫されて、出口のところに関連するところにももう少し高く入るような形でやらないと、数が多くなる分少々不安だなという気がするのですが、検討していただければいいと思います。</p>	<p>・プログラミングに興味があるが、定員が少なく訓練受講をあきらめている希望者の受入れを拡大する。</p> <p>・その上で、製造業等におけるIT関連職種など、就職先開拓にも力を入れていく。(関連就職率の向上)</p>
	訓練期間	14	<p>・資料4の民間委託訓練なんですけれども、これももし6か月で短いのだとしたら、さらにやる気のある人のためにさらに6か月とか。アドバンストのコースを選択できるようにした方がいいのではないですか。</p> <p><部会後のメール> 離職者コースも6か月やっても無駄だったら、さらに希望者はさらに6か月アドバンストなコースを選べるようにするとか、支援できたらと思います。(本当は、学卒者コースであっても、離職者が受けることができたり、その逆もできたりしたらよいと思います。そうすれば充足率も高まると思いますので)。</p>	<p>・総訓練時間については300時間(1月当たり100時間)を標準とし、1年以下とする。 【委託訓練実施要領(厚生労働省)】</p> <p>・6ヶ月訓練として標準的なカリキュラムを設定している。</p> <p>・離職者にとっては早く就職に結びつけて収入を得るといったニーズが高い。</p> <p>・就職後、より高度な内容も設定されている能力開発セミナー(在職者訓練)の受講を勧めるなど、離職者訓練と在職者訓練の接続のPRに努める。</p>
広報	キャリアプラン	15	<p>・技専を知らなかった方が5割いるという事実ですね。</p> <p>・例えばこの学科に行ってこれを勉強したら、こんな会社で働けて、お給料が幾らぐらいで、休みが例えば土日ちゃんと取れるとか、土日は取れないけどちゃんと年間休日が幾らぐらいあるとか、資格はどういうものが取れて、将来的にどういうキャリアプランになるのかというのをひもづけたPRというのをしていくと、よりみんなが具体的に考えられるかなと思いますので、PRを今からどんどんやっていくと思いますけれども、やり方というところでそういうものがあればいいかなと感じました。</p>	<p>・広報はホームページ以外にも、SNSの強化を図る。</p> <p>・普通課程は過去3年の就職実績をリーフレットに掲載している。離職者訓練でも具体例が記載できないか要検討。【過去、好事例の紹介あり。ポリテクセンターやポリテクカレッジの例も参考に充実を検討】</p> <p>・技専、ポリテクセンター、ポリテクカレッジの三者合同のパンフレットを作成する。</p>
		16	<p>・外部に訴えて訴求して入校者を集めようといったときには、育てたい人材像といいますか、どういう人材を育てようという目的があって、そのために入ればどんなことができるようになるかと。どんなカリキュラムを組んでいる。就職先はこういうところなんですよという流れをしっかりと打ち出してあげると、なおさら入校を考えている方には分かりやすくなるのかなと思います。</p>	
		17	<p>・こういう人材を育成するためにはこういうカリキュラムが必要だという関係性をもう少し見せていただきたいと思います。</p> <p>・もっと具体的に分かりやすい入校生の募集案内等の広報が必要で、県の支援を技専にも取り組んでいただきたいと思っています。</p>	
	学費	18	<p>・ただでこんなことを学べるんだということを、多分みんな知らないと思うんですよ。知っていたらやりたいと思うと思うので、ぜひ学費の情報もお願いします。</p>	
科名	ビジネス事務科	19	<p>(再掲)</p> <p>・ビジネス事務科の部分はこういうふうに通一していただいて非常によかったなと思っています。似たようなことを別々の名前で色んなところでやっているというのは分かりづらかったので、先ほどから出ている広報の面でも、こういうふうにした方がすっきりしてやりやすいんじゃないかなと思っていますので、非常にいいと思います。</p>	—
	全般	20	<p>・科の名前とか専攻の名前から学生たちがその内容をイメージするという部分は非常に大きいので、どんな科の名前にするかということは想像以上に入校の数に影響してくるんじゃないかなと考えています。そういう意味では、現行よりも再編後の名前のほうが非常に分かりやすくなったなと感じました。</p>	—
	電子情報／IoT科	21	<p>・確かに科名のインパクトというのは受講者にとっては大きいですが、ぱぱっと見ていて、3-2の電子情報／IoT科、これっていいなと正直思いました。</p>	—
	デジタルものづくり科／機械エンジニア科	22	<p>・メインの科名と、もう一つセカンドネームみたいな形で表現できるとすごくいいなと思ったので、デジタルものづくりか、機械エンジニアかどっちかにしようというのもあったけど、どっちかを括弧で入れちゃってもいいのかなと。科名は科名だけれども、サブタイトルみたいなものを常に表現できるというのが、利用者にとっては情報量としては多いのかなと感じたところがございます。</p>	<p>・メカトロニクス科 ➡ 機械・制御エンジニア科</p>

→ 資料6-1